

私のプロフィール

1, 趣味

硬式テニス（ダブルス）

ギター・二胡の演奏

自作曲（作詞、作曲をしてボーカロイドに歌わせる）

将棋

カラオケ（含む中国語のカラオケ）

家庭菜園

地域ボランティア

2, 仕事

過去の仕事になりますが、大型コンピュータ用の電源の開発・設計（35年間）に従事していました。
現在は free です。

3, このブログの開設理由

6年余りの中国上海駐在生活を通じ、その後も独自で考案蓄積した学習方法の紹介です。

以前仕事で上海に駐在していた当初、仕事上では、通訳者がいましたし、またカタコト英語でエンジニアと意思疎通ができましたが、仕事が終わってから夕食を食べに出たり、休日でも外に出掛ける時には、中国語（普通語）が喋れないと、何もできません。そこで通訳者の紹介で個人レッスンを始めましたが、中国語の発音で挫折しました。全然覚えられないのです！ 何度もノートに書いて覚えたいはずなのに、実際に使う時になると、“シャン”だか“シェン”だか“シエン”だかまして声調は日本語のような平坦なアクセントになってしまい、タクシーに乗ったり、店で買い物したりしようとするときは非常に大変でした。

他の人がどうして中国語を喋れるのか非常に不思議でした。
とはいえ何とかしなくちゃいけないと思って、いろいろ考えました。

そこで考え出した方法は、発音を子音と母音に分けて、母音の発音が正確にできれば、後は子音と声調をそれにくっつけて覚えれば、何とかかなりそうな気がしたので、キーワードを予め作っておいて、漢字の意味とキーワードをくっつけて日本語の文章（＝フレーズ）にして覚える方法を始めてみました。

新しい漢字を使った単語が出て来る度毎に、フレーズを作ったり、変更したり付け足したりして“フレーズ集”を作って、中国漢字に対応するピンインと声調を覚えてきました。

日本に帰国後に、中国語検定試験の2級と3級を受験してみました。

3級は合格しましたが、2級は点数が不足して不合格でした。

自己学習が中心の為、“听力”（聞く力）が不足していたのが弱点でした。

とは言え、ピンインと声調に関する問題はそれほど難しいとは感じなかったので、自分の考え出した方法の有効性は確信しました。

帰国後も、中国語には興味が有り、個人レッスンやスピードラーニングをやってみました。

やっと時は、それらしくはなるものの、確実に自分のものになったという実感が得られませんでした。

中国語の基本は、やはり発音です。

発音はピンインと声調をマスターする必要が有ります。

何をやっても、最終的にはピンインと声調をマスターしないと向上は望めないのが結論です。

小さなときから、中国語を話す世界にいれば会話の流れの中で自然に覚えてしまいましたが、後から中国語を学ぶ者は、違う方法を使わないと時間が足りません。

“フレーズ集” はパソコン画面や、プリントアウトした紙を見ないと確認できませんが

ズボラな私は、いちいち画面や、プリントアウトした紙を見るのが面倒になり、

見なくてもフレーズが覚えられるように、読み上げソフトを使って、

耳からフレーズが聞ける “読み上げ” を作りました。

“読み上げ” を聴いていると、フレーズが3回も繰り返して入ってくるので、

とても覚え易くて良いツールだと思います。

さらにその後、楽しくフレーズを曲として聴ける “歌で聴く” を作りました。

“フレーズ集”、で漢字の書き方や意味を確認したり “読み上げ”、“曲で聴く” で

耳からフレーズを流し込むことで漢字の書き方、ピンイン、声調が理解できるようになり、

あれほど難しいと感じていたピンインと声調を習得する事が、

ルンルン気分です。

中国語を学ぶのに、私がぶつかったピンインと声調を覚える壁は、

多分現在中国語を学んでいる人たちも同じように感じ、苦労しているだろうなと思い、

それなら私の蓄積してきた学習法を公開すれば、きっと役に立つはずだと思ってブログを始めたわけです。

中国語を話したり、聞いたりするには、ピンインと声調を正しくマスターしていないといけません。

特に声調は中国語を話すのには必須の要素です。

普段から中国語でコミュニケーションをとっている方なら、自然にマスター出来ていくでしょうが、

普段あまり中国語を使っていない方は、尽きる事のない反復学習を繰り返すしか手立てが有りません。

学習が進むにつれて、増える語彙の全てを、反復学習だけでマスターするのは無理が有ります。

学習は楽しくなければ、意欲も湧きませんし向上もしません。
ピンインと声調に自信を持って話すことができる方法を習得して、
より早く高いレベルに進む為の道具として活用していただきたいと思います。
"フレーズ集"は10年以上かけて蓄積してきて、今も進化中ですが、
一旦区切ってまとめて見たのが今回紹介している教材になります。
出来上がってしまえば、これだけのものかとも思いますが、自分的には画期的と思っています。

中国語の学習は、ピンインと声調だけでなく、当然文法や定型文型、単語の学習も必要です。
特に単語の学習は非常に大切ですが、単語集で単語だけ学習する場合は、名詞を中心に行って、
名詞以外の用法は 実際の文例や、会話例で学ぶことをお勧めします。

私はこんな顔のオッサンです。

